

令和元年度 ESD推進指導者研修会（報告）

- 1 日時 令和元年8月28日（水）午前10時00分から午後3時10分まで
2 場所 ウィルあいち セミナールーム1・2
3 参加者 研修会①：48名、研修会②：39名（申込者51名、当日欠席1名）
4 内容

- (1) 開会行事 主催者挨拶：生涯学習課長 大道 伊津栄（10:00～10:10）
諸連絡：担当

- (2) 研修会① 講義及びワークショップ（10:10～12:00）

「学習指導要領を踏まえ、持続可能な社会の創り手を育む」

前ESD円卓会議委員

NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム理事

日本ESD学会副会長

前江東区立八名川小学校長

手島 利夫 氏



- ・ 社会の変化について個人で考え、4人グループで共有。その後、激しく変化し、情報化、グローバル化も進む社会の中で、学校教育をどのように変えていく必要があるのかを考え、参加者間で共有。
- ・ 新学習指導要領を読み解き、従来の教科分断的な発想から教科横断的な発想（カリキュラム・マネジメント）が必要であることや主体的・対話的で深い学びが求められていることを説明。
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、生きる力を育むことを目指し、問題解決的な学習過程を重視して、その中に、対話的な協働場を位置付けることが重要であることを示す。
- ・ 実践事例として、江東区立八名川小学校の「総合的な学習の時間の取組」、「八名川まつり」、6月に実施した「子どもと海のSDGs出張授業」での取組、教材の紹介。



- (3) 研修会② 講義及びワークショップ（13:00～15:00）

「SDGsの視点からESDの教育デザインを考える

～SDGs×PBL教育デザインの事例紹介～」

新渡戸文化小中学校・高等学校生物教諭・学校デザイナー

NHK高校講座講師（2004～2017）

一般社団法人Think the Earth・SDGs for School アドバイザー

東京書籍教科書編集委員

未来教育デザイン Confeito 設立者

株式会社ゲイト・CSV コミュニケーター

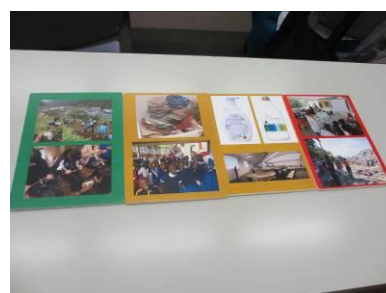
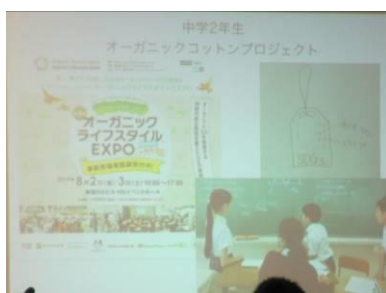
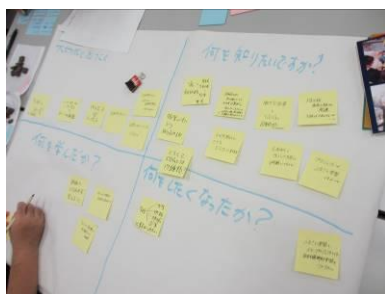
日本パブリックリレーションズ研究所・PR for School アドバイザー 山藤 旅間 氏



- ・ 研修は模造紙を用い、「SDGsとESD」、「何を知りたいか」、「何を学んだか」、「何をし

たくなっただか」について、参加者に問いかけ、4人のグループ内で共有すると共に、具体的な授業実践を示し、その都度、SDGsの目標との関係を考えさせる形式で進められた。

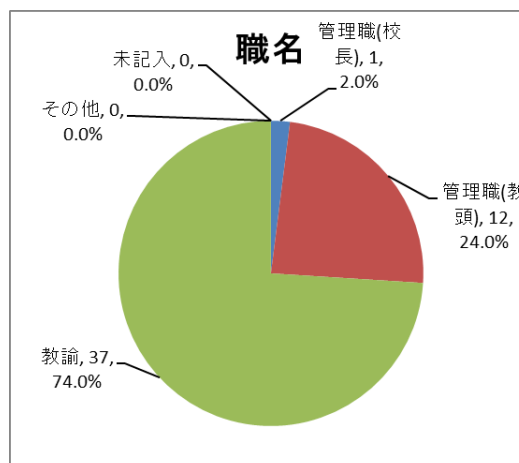
- 社会の変化により、教育も変化する必要があること、また、世界が変化することにより、求められる力も変化することを踏まえ、未来の教育について、時流から見たこれからの教育デザインを考察。
- SDGsとは、社会課題をまとめたものであることを示し、4番目の目標である「質の高い教育をみんなに」は、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにすることが目標であることを説明。その実現のためには、教育者として「教え過ぎない、子供と一緒に考える」という教員のマインドセットの重要性を示す。
- 授業の中での探求への応用事例の紹介として、白田教諭から中学2年生で実践したオーガニックコットンを活用した授業実践について説明。
- チョコレートを活用したSDGs授業紹介として、原料としてココアバターと、パーム油を用いた2種類のチョコレートを実食し、ボルネオ島でのパーム油に由来する森林伐採による環境破壊と、住民の経済的向上という二面性を例示し、子供に対して学びへの問いかけの実際を示す。また、教育実践例の紹介として、実際に取り組んだ数々のプロジェクトを小パネルにより紹介。



(4) アンケート (15:00~15:10) 50名から回収 結果まとめ

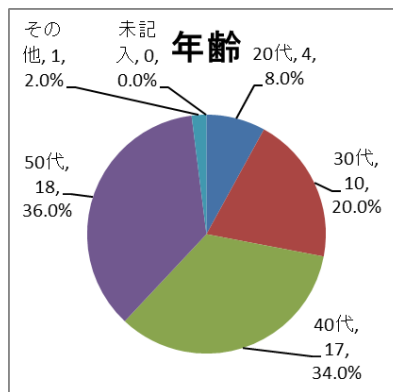
ア 職名

職名	人数	割合
管理職(校長)	1	2.0%
管理職(教頭)	12	24.0%
教諭	37	74.0%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%
計	50	100.0%



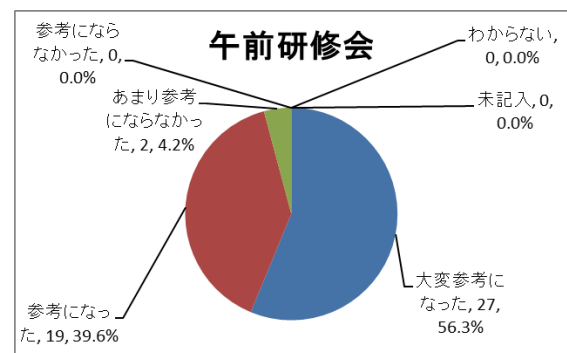
イ 年齢

年齢	人数	割合
20代	4	8.0%
30代	10	20.0%
40代	17	34.0%
50代	18	36.0%
その他	1	2.0%
未記入	0	0.0%
計	50	100.0%



ウ 午前の部 研修会①の感想

午前の部 研修会①	人数	割合
大変参考になった	27	56.3%
参考になった	19	39.6%
あまり参考にならなかった	2	4.2%
参考にならなかった	0	0.0%
わからない	0	0.0%
参加していない	2	—
未記入	0	0.0%
参加者計	48	100.0%



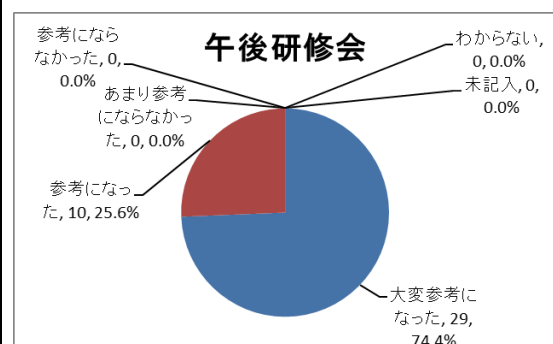
- ・ まだ学校を動かす力はありませんが、自分の意識で子供が変わっていくのかなと思った。
- ・ ESDの視点から、授業展開、カリキュラムマネジメント等参考になることが多かった。
- ・ ワークショップ形式で分かりやすいプレゼンでした。
- ・ 時間が過ぎるのを感じさせない充実したお話だった。
- ・ 「問い」「意識付け」の大切さが良く分かった。
- ・ 自分が実際に体験させてもらい、子供たちに主体的に学習させること、カリキュラムマネジメントについて、とても分かりやすく参考になりました。
- ・ 具体的な実践例があり、単元構想という視点が参考になった。
- ・ SDGsのことがよく分かり、ESDについてもしっかり学べたと思います。
- ・ ESDカレンダーなどの実践の話が聞けて良かったです。限られた時間でしたが、活動の時間にもう少し時間を割いていただけると良かったです。
- ・ 慌ただしかったので、もう少しゆっくりアクティビティに参加したかった。熱意あふれるお話で、興味深く聴くことができた。
- ・ 授業実践の具体例のお話に引きつけられました。
- ・ 学びに火をつける、まず、どんな導入が必要か参考になった。
- ・ もう少し具体的な実践例を教えてくださいました。ESDを進めていくビジョンが見えなかった。
- ・ 以前聞いた内容とほぼ同じ内容であった。
- ・ 学校でESDの考えを取り入れ、研究を進めていく上で、教師、子供への投げかけ方や伝達の方法について考える機会となった。また、具体的な実践例も紹介していただき、イメージをもちやすかった。
- ・ CD、パワーポイントの資料配付やレジュメは、持って帰って部（総合研究部）等で回覧できるのでうれしい。
- ・ ESDをカリキュラムマネジメントに落とし込むイメージが少し湧いたため。
- ・ 教科横断的な取組について、どこから取りかかるのが良いか分からなかったが、今回の研修

会で糸口がつかめた気がした。「火をつける工夫」ということに取り組んでみようと改めて思った。こうした取組をもっと同僚と共有したいと思った。

- ・ カリキュラムマネジメントや授業について、具体的にどのようなことをすれば良いのかのヒントをいただいた。
- ・ ESDの考え方が新学習指導要領の考え方に合っていることがよく分かった。
- ・ 自分で課題を見つけることで、より身近に感じ、考えようとするにつなると感じました。ワークショップを取り入れることで、より効果的になると感じました。
- ・ ESDやSDGsが動いていることが分かった。
- ・ これまでに学んできたことを再確認できた。
- ・ ESDの教育を進めていく上で、極めて実践的で分かりやすい講義だった。育てる力や授業の狙いが具体的に理解できた。
- ・ 探求活動にありがちな失敗を分かりやすく説明していただいたこと、また、次期学習指導要領に取り上げられているカリキュラムマネジメントのイメージがよくつかめました。
- ・ 現在行っている授業を考え直そうと思う機会になりました。
- ・ 世の中の変化が急激であり、その中で教育も考えていかなければいけないということを改めて実感しました。
- ・ ESD実践に必要なこと（実践例）が具体的に示していただいた。
- ・ 生徒の参加のさせ方の工夫を知ることができた。
- ・ 生徒に対しても、教員に対しても、どのようにアプローチすべきか実感できた。また、現在の教育のモヤモヤがなくなり、方向性も改めて認識できた。
- ・ 校内の先生たちに対してどう働きかけていくのか、学校としてどう進めていくのかが見えてきました。新しい学習指導要領との関係もすっきりしました。
- ・ 何か変えていかなければと思っているだけでしたが、前より具体的に「こういう所からかな」と思えた。自分が経験した手法を使えると思うので。
- ・ ESDとカリキュラムについて理解が深まった。今日本の教育は変わらなければという思いが強くなりました。
- ・ 学校全体で取り組むための仕掛けを作っていくことが大切だと感じました。
- ・ 実践的な内容で参考となりました。

エ 午後の部 研修会②の感想

午後の部 研修会②	人数	割合
大変参考になった	29	74.4%
参考になった	10	25.6%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
参考にならなかった	0	0.0%
わからない	0	0.0%
参加していない	11	—
未記入	0	0.0%
参加者計	39	100.0%

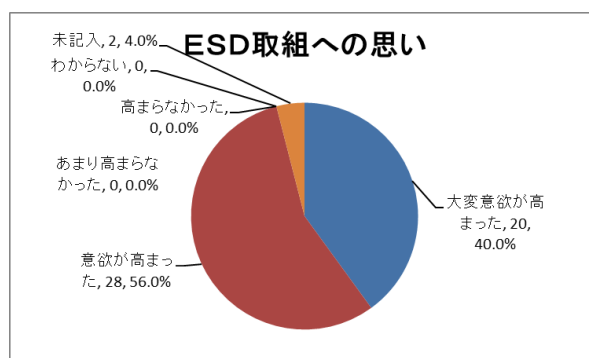


- ・ とても今までにない考え方、アイデアが参考になりました。
- ・ SDGsとその実践例、プロジェクトを通しての教育活動、とてもわくわくするものであると感じました。
- ・ SDGsの実践の話がたくさん聞けて良かったです。自校でできることがないか考えていきたいです。

- ・ とても分かりやすく参考になりました。
- ・ アイデアや授業実践が面白かった。
- ・ 社会とつながる、答えのない課題について、子供と共に考えることの必要性。
- ・ 実践例や具体的な話を聞くことができた。
- ・ プロジェクトにより「本当に自分たちに必要なことは何か」考えて行動していく姿に心動かされた。自分たちの教育活動に取り入れていきたいと感じた。
- ・ 社会を改革する、より良くすることの学校における大切さを分け与えてくれた気がする。
- ・ いかに自分の見識が浅いか良く分かった。夜間定時制に勤務している今こそ、自由にやれると感じた。
- ・ 授業の具体的な実践例の紹介が大変参考になった。
- ・ 企業とのコラボでプロジェクトを進める方法が少し分かったから。
- ・ ESDやSDGsが身近に感じられた。具体的にはまだ分からないが、何かやりたい、子供たちと一緒に考えてみたいと強く思った。
- ・ 山藤さんご自身が熱意をもって実行していることが分かり、自分の意識が変わってきた。
- ・ 様々な学習の方法を知ることができた。学び方の違いで、子供の成長の仕方が変わる。どの学校でもやれば、社会は変わるかも。
- ・ 課題研究の授業でSDGs関係の講座を担当しているが、たくさんヒントをいただいた。
- ・ SDGsを柱に据えて、教科の学び、学校の仕組みを変え、生徒が育つ姿に大変興味をもった。
- ・ 事例は面白かったが、なかなか実践にまで結びつけていくことは難しそうであった。
- ・ 「やってみたい」と思う内容がたくさんありました。
- ・ SDGsに紐付けて、様々な活動をしていることに感銘を受けた。
- ・ 教員の意識と意欲によって授業改善はでき、生徒の生きる力が向上することが分かった。
- ・ 社会とつなげる方法をもっと考えようと思いました。
- ・ SDGsの17のテーマの広がり、つながりが、一つの学びを深めることで変化することが学ぶ側として新鮮に感じました。
- ・ 「紐付ける」という言葉が印象的でした。今の年間計画、今のカリキュラムの枠を越えて、教科横断的に進めていくことを、目指していきたい。
- ・ やれる可能性はどのくらいかは不明だが、事例を示してもらえて少しいメージが見えたような気がする。
- ・ 具体的な取組の紹介により、活動のイメージがもちやすかった。
- ・ 何のためにこのプロジェクトをやるのか考えて実践するのは、素晴らしいことだと思いました。実際に何から取り組むかは難しいですが、意識を変えるために種を蒔くことが大事だと思いました。
- ・ SDGsについて講習会前より詳しくなった。同時にわくわくしてきました。
- ・ 実際の活動をたくさん教えてもらい刺激になった。
- ・ 漠然と「何かやりたい」「でも大変かもしれない」と足踏みしていましたが、まず動いてみよう、勇気ももらいました。2学期には、まず職場の仲間づくり、ビジョンの共有を進めたいと思います。

オ 研修会に参加して、今のあなたのESDの取組に対する思い

ESD取組への思い	人数	割合
大変意欲が高まった	20	40.0%
意欲が高まった	28	56.0%
あまり高まらなかった	0	0.0%
高まらなかった	0	0.0%
わからない	0	0.0%
未記入	2	4.0%
計	50	100.0%



(5) 閉会